※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	高校倫理　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・他者とともに生きる自己の在り方、生き方について考える力を養う。
・教科書や資料を読み、情報を主体的に選択し活用する力や、多面的・多角的に考察し探究する態度と、獲得した知識を適切に表現する力を身につける。

2　学習の到達目標

・青年期の課題と、人間としての在り方生き方について、諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。
・主体としての自己の確立をめざして、とくに人間の尊厳についての倫理的な考え方を学びとり、人格形成に努める意欲を高める。
・現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断の能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成に関心を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立に努めるとともに、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体として広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的･多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 レポート
	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	青年期の課題と自己形成	・青年期の意義 ・青年期の課題	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:青年期の意義と課題に対する関心を高め、意欲的に探究し、他者と共に生きる自己の行き方について考えようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート レポート
	人間としての自覚	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・仏教 ・中国思想	○ 	 ○ ○ ○	 	○ ○ ○ ○	a:人生における哲学、宗教等のもつ意義に対する関心を高め、それらの持つ人間の存在価値にかかわる課題を意欲的に探究しようとしている。 b:人生における哲学、宗教等のもつ意義から、多面的・多角的に考察し探究すると共に、考察した過程や結果を適切に表現している。 c:ギリシア思想、キリスト教、仏教、中国思想に関して、資料集やメディアなど学習に役立つ情報を主体的に選択し、活用している。 d:哲学、宗教について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	a:日本の風土や伝統、外来思想の受容に対する関心を高め、意欲的に探究し、国際社会に生きる主体性のある人間としての生き方について考えようとしている。 b:古典や生活習慣などをもとに、日本の風土や伝統について多面的・多角的に追求し、考察過程を適切に表現している。 c:日本の風土や伝統、外来思想等に関して資料集やメディアなど学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d:日本の風土や伝統、外来思想などの特質を、生き人格の形成に生かす知識として身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

後期	現代に生きる人間の倫理	・人間の尊厳 ・科学技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・社会参加と幸福	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	a:現代に生きる人間が直面する諸課題に対する関心を高め、倫理的視点から意欲的に追究しようとしている。 b:現代に生きる人間が直面する諸課題について、倫理的な見方や考え方を身につけ、考察した結果を適切に表現している。 c:資料集などを手がかりに、先哲などの考え方や生き方を自らの思索を深めるために活用している。 d:合理的精神、民主社会の倫理など人間の尊厳と自覚について、自己の生き方とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	現代の諸課題と倫理	・生命の倫理 ・文化と宗教の課題	○ ○	 ○	 ○	○	a:現代の諸事象における倫理的課題から、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。 b:現代の倫理的諸課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代の倫理的諸課題をインターネットなどのメディアなどを通して収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:生命倫理や異文化の尊重、国際平和について自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。